



2009.11.5

2009年度第2四半期
決算説明会



東洋紡
取締役社長
坂元龍三

決算のポイント

上期実績

- 前年同期比で大幅な減収減益も、業績は回復基調。
2Qで営業利益、当期利益ともに黒字転換
 - 全セグメント黒字化
 - 固定費対策、液晶および自動車関連の数量回復が寄与
 - 在庫圧縮を進め、キャッシュフローを確保

(億円)

	08年度				09年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	H2(予)
売上高	971	1,054	890	758	728	821	1,701
営業利益	42	55	30	-15	-7	37	90

通期見通し

- 1Q計画未達も、2Q以降は計画通り推移。
前年度並みの営業利益と最終黒字を確保する見込み

目次

I

2009年度第2四半期累計決算概況

II

2009年度業績予想

III

経営方針と課題

補足資料

I . 2009年度第2四半期累計決算概況

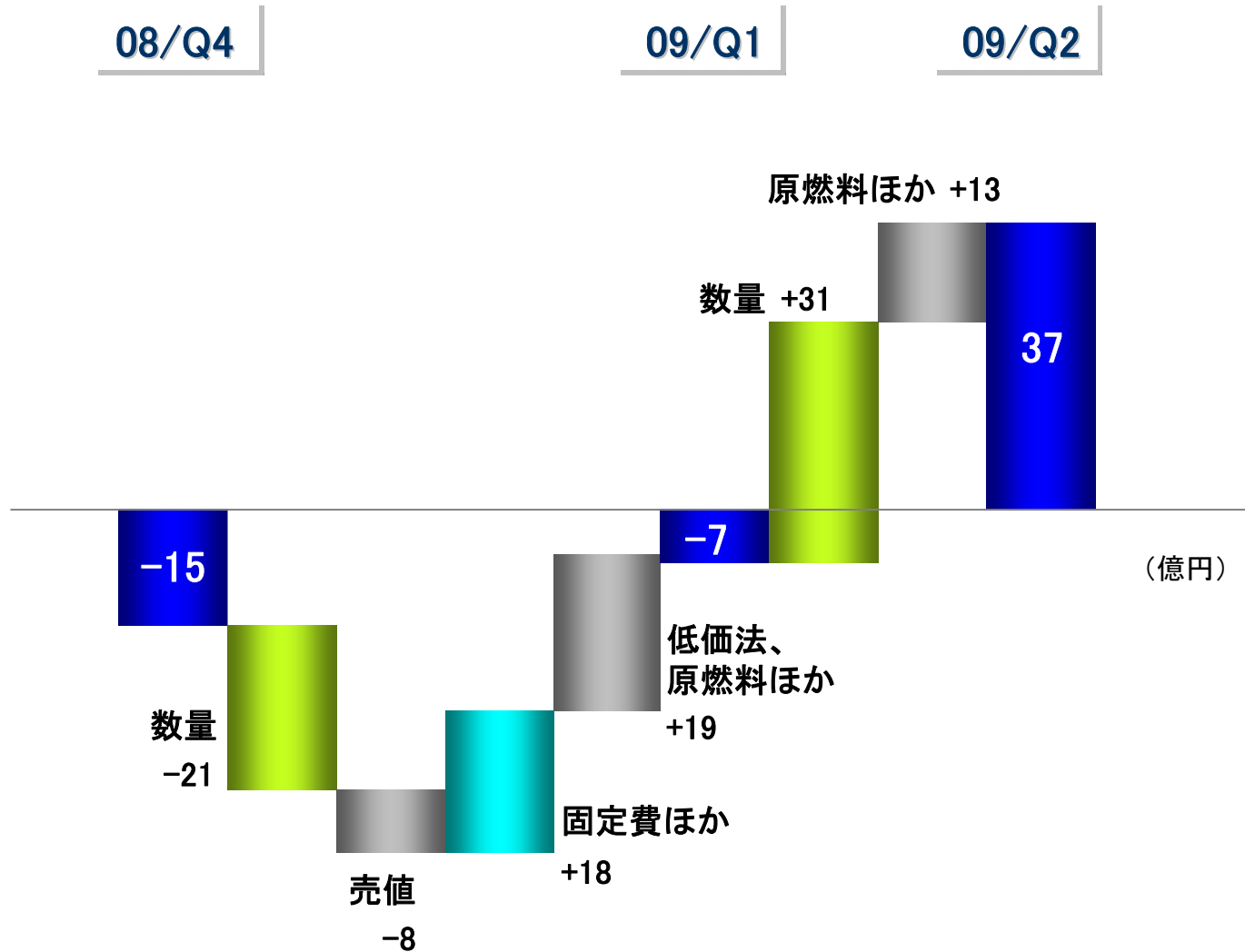
(1) 決算概要

- 2Qで営業利益が大きく回復、当期利益も黒字転換
- 在庫圧縮を進め、キャッシュフローを確保

	(億円)						当初計画 (2009/5)
	08上	08下	09上		前年 同期比 %		
			Q1	Q2			
売上高	2,025	1,648	728	821	1,549	-23.5%	1,640
営業利益	97	15	-7	37	30	-69.1%	48
(対売上高、%)	4.8%	0.9%	-1.0%	4.5%	1.9%	-	2.9%
経常利益	68	-47	-14	27	13	-81.3%	18
当期純利益	-56	-69	-15	10	-6	-	0
減価償却費	95	117	-	-	101	+6.3%	
設備投資	114	86	-	-	90	-21.2%	
営業CF	-40	37	73	48	121	-	

I . 2009年度第2四半期累計決算概況

(2) 営業利益増減要因分析 (四半期比)



(3) 財務指標

- 棚卸資産の圧縮を徹底
- 現預金増を加味すると、借入金も横這い維持

(億円)

	09/3末	09/9末	09/3末比増減	
総資産	4,438	4,528	+90	
うち現預金	100	189	+89	
うち棚卸資産	758	661	-97	
純資産	1,340	1,286	-53	* (実質)
自己資本	983	1,045	+63	1,199
(自己資本比率)	22.1%	23.1%		26.5%
少数株主持分	357	241	-116	
有利子負債	1,789	1,891	+102	1,957
D/E レシオ	1.82	1.81	-	1.63

* ハイブリッド証券(少数持分)の資本性を勘案

(4)コスト削減活動の進捗(CR100)

【コスト削減額 (08年度比)、発生ベース】

(億円)

	09年度		10年度 計画	計画内容
	計画	上実績		
変動費*	40	16	55	<ul style="list-style-type: none"> 原料海外調達 調達コスト見直し(継続) 原単位改善
固定費**	30	33	45	<ul style="list-style-type: none"> 設備集約、用途転換 減産に応じた共通部門費圧縮 労務費削減 聖域なき経費節減
製造	22	19	30	
営業 スタッフ } }	8	14	15	
合 計	70	50	100	
	進捗率 71%			

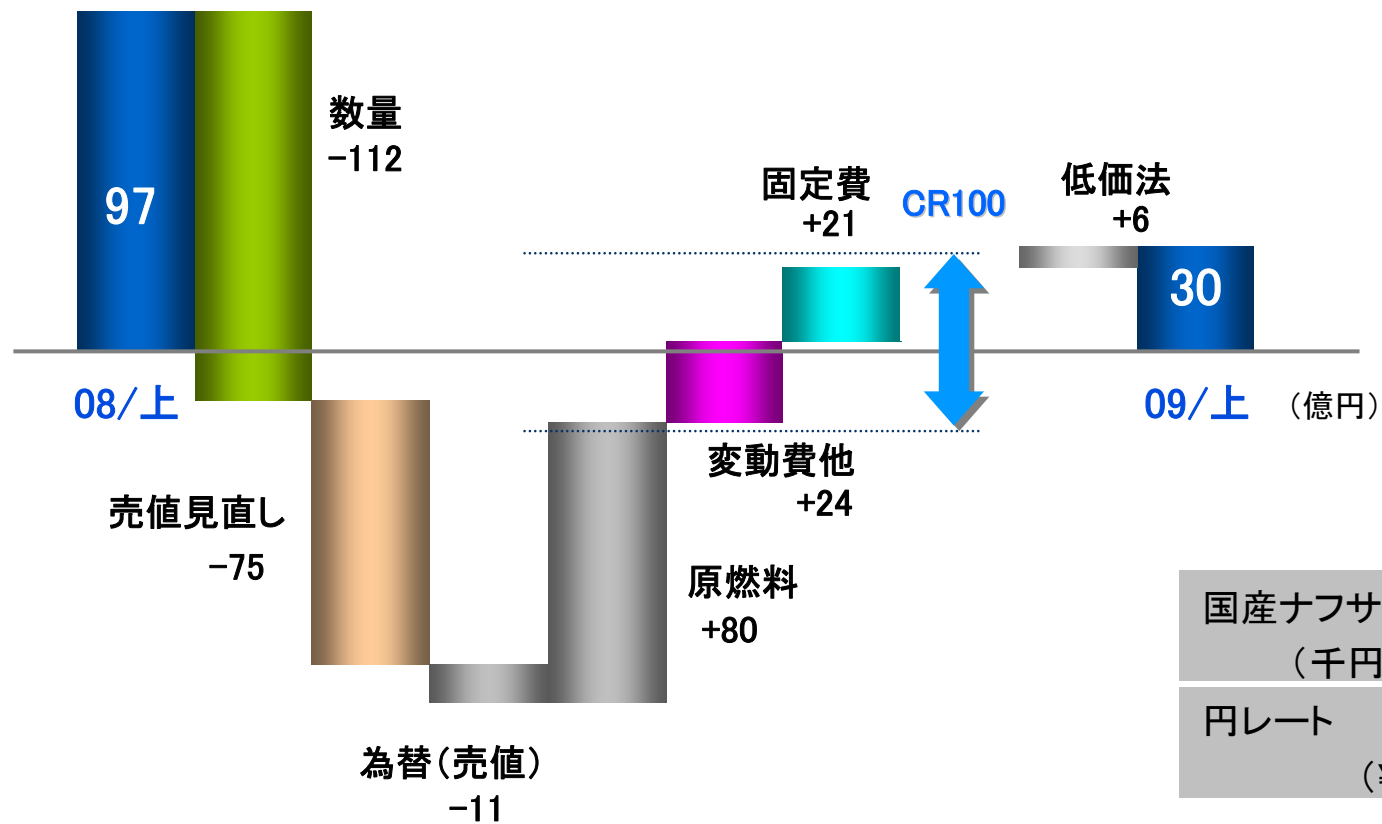
* 市況要因による原燃料価格ダウンは含まず

** 減価償却費除く

I . 2009年度第2四半期累計決算概況

(5) 営業利益増減要因分析（前年同期比）

【08年度上半期→09年度上半期】



I . 2009年度第2四半期累計決算概況

(6) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			当初計画 (2009/5)
	08上	08下	09上	08上	08下	09上	
フィルム・機能樹脂	697	526	553	48	-5	12	13
産業マテリアル	416	330	287	29	13	7	21
ライフサイエンス	170	161	157	19	11	17	15
スペシャルティ計	1,283	1,018	997	96	18	36	49
衣料繊維	599	519	459	10	4	2	8
不動産・その他	143	112	93	9	10	7	10
消去・全社	-	-	-	-18	-17	-16	-19
合計	2,025	1,648	1,549	97	15	30	48

(6)セグメント別 ① フィルム・機能樹脂

液晶・光学用フィルムは数量回復
 包装用フィルム、工業用接着剤「バイロン」は堅調

(億円)

	08上	08下	09上		
			Q1	Q2	計
売上高	697	526	270	282	553
営業利益	48	-5	-5	17	12
(営業利益率)	6.9%	-0.9%	-1.8%	6.0%	2.2%
減価償却費	35	50	-	-	40

● 工業用フィルム

固定費対策と数量増が寄与
 新分野、新用途開拓

● 包装用フィルム

食品包装用は出荷堅調

● 機能樹脂

バイロンは電子部品用途が堅調
 エンプラは2Qから自動車向け回復

② 産業マテリアル

自動車関連は1Qで大幅減産実施、2Qより出荷回復

(億円)

	08上	08下	09上		
			Q1	Q2	計
売上高	416	330	127	160	287
営業利益	29	13	-3	10	7
(営業利益率)	6.9%	3.8%	-2.1%	6.0%	2.4%
減価償却費	19	21	-	-	20

- **エアバッグ用基布**
2Q後半より数量回復
操業度損影響大
- **機能フィルター**
溶剤回収装置戻り基調
環境関連需要は堅調
- **スーパー繊維「ダイニーマ」**
安全手袋向け需要減速

③ ライフサイエンス

バイオが円高の影響受けるも、医用膜、医薬は堅調

(億円)

	08上	08下	09上		計
			Q1	Q2	
売上高	170	161	70	87	157
営業利益	19	11	6	12	17
(営業利益率)	11.3%	6.6%	8.2%	13.4%	11.1%
減価償却費	17	18	-	-	16

● **医用膜**
海外向け需要堅調
生産性改善

● **バイオ**
診断薬酵素は、為替影響あり
新診断システムの採用数増加

● **アクア膜**
交換膜の出荷堅調

④ 衣料繊維

構造改革効果で黒字確保
使用資本の圧縮進む

(億円)

	08上	08下	09上		計
			Q1	Q2	
売上高	599	519	217	242	459
営業利益	10	4	0	2	2
(営業利益率)	1.7%	0.8%	0.1%	0.7%	0.4%
減価償却費	13	16	-	-	13
使用総資本	1,057	921	-	-	848

● アクリル繊維

構造改革効果により黒字化
内地、輸出共に数量堅調

● 東洋紡STC (繊維)

トーブ地苦戦
スポーツ、インナーは堅調

Ⅱ . 2009年度業績予想

(1) 業績予想

- ・数量回復、CR100、新製品・新市場開拓により計画通り推移
- ・前年度並みの営業利益と当期利益黒字を確保する見込み

(億円)

	08年度実績	09年度予想			当初計画 (2009/5)
		上実績	下予想		
売上高	3,673	1,549	1,701	3,250	3,400
営業利益	112	30	90	120	140
(対売上高、%)	3.1%	1.9%	5.3%	3.7%	4.1%
経常利益	21	13	62	75	80
当期純利益	-125	-6	31	25	30
減価償却費	212	101	99	200	
設備投資	200	90	55	145	
為替レート(円/US\$)	100	96	93	95	
国産ナフサ価格(千円/KL)	59	38	44	41	

(2) セグメント別内訳(予想)

・フィルム・機能樹脂、産業マテリアルの回復を見込む

(億円)

	売上高				営業利益				当初計画 (2009/5) 通年
	08年度	09年度予想		08年度	09年度予想				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,223	553	617	1,170	43	12	46	58	48
産業マテリアル	747	287	363	650	41	7	21	28	49
ライフサイエンス	331	157	193	350	30	17	23	40	37
スペシャルティ計	2,301	997	1,173	2,170	115	36	90	126	134
衣料繊維	1,117	459	441	900	14	2	5	7	20
不動産・その他	254	93	87	180	19	7	11	18	21
消去・全社	-	-	-	-	-35	-16	-15	-31	-35
合計	3,673	1,549	1,701	3,250	112	30	90	120	140

Ⅲ. 経営方針と課題

(1) 経営方針と課題 (09/上 進捗)

経営方針:「足元を固め、成長への布石を打つ」

■ 足元を固める

- ・収益力の確保 : CR100計画通り実行 (前年同期比 **50億円減**)
- ・FCF拡大 : 在庫圧縮進む (09/3比 **97億円減**)
- ・資産効率改善 : 衣料繊維の使用資本圧縮 (09/3比 **73億円減**)

■ 成長への布石

- ・新事業の創出 : 化粧品原料、POCube(簡易検査装置)
新PET触媒、次世代電子材料
- ・新市場開拓 : 海外アライアンス案件

(2) 下期のアクション

基本認識：「景気回復遅れへの備え」と「成長策の実行」






■ 足元を固める

- ・CR100をやり遂げる
- ・CF重視：在庫管理徹底継続
- ・資産効率改善：グループ一体改革

■ 成長への布石

- ・新たなカテゴリートップ事業の創出
 - －環境、ライフサイエンス分野など積極拡大
 - －海外展開・アライアンス
- ・スペシャルティ事業の製品ポートフォリオ改革

(参考) 展開する5つの市場

セグメント／事業		市場	自動車	電子・ 情報表示	環境	生活 安全	ライフ サイエンス	
フィルム・ 機能樹脂	機能フィルム			工業用フィルム		包装用フィルム		
	機能樹脂		エンジニアリング プラスチック	工業用接着剤 電子材料	光機能材料 バイロエコール	アクリレート樹脂		
産業 マテリアル	機能ファイバー		エアバッグ用基布 タイヤコード		新PET触媒			
	スーパー繊維		エンジンフィルター キャビンフィルター 内装材料		溶剤回収装置 バグフィルター		高強力PE繊維	
	機能フィルター 不織布						衛材	
ライフ サイエンス	バイオ						診断システム	
	医薬				海水淡水化RO膜 上水膜		化粧品原料	医薬製造受託
	機能膜							医用膜

07:スペシャルティ売上高(億円)
08:スペシャルティ売上高(億円)

510
470

360
305

230
225

1030
1000

320
300

補足資料

補1) 訴訟関連

<概要>

- ① 2003年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故は1件のみ)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起
- ⑤ 購入者からの集団訴訟は 原告団との和解成立(和解金等(約44億円)05上特損処理)
事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)も、和解により解決
ドイツ州政府からの訴訟は、一審で管轄不存在が認められ、控訴審で和解により解決

<訴訟状況>

(09.11.05現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		その他	政府関係
原告	購入者	ペンシルバニアほか 警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ドイツ2州政府
状況	和解成立 (05/10/26)	和解成立 (06/1、06/11、07/1)	訴状受取後 動きなし	証拠開示手続	証拠開示手続	和解成立 (09/2/26)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件



本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社